

二〇五〇番

明日あすよりは 我わが玉床たまどこを 打ちう払はらひ 君きみと寝いねず  
て ひとりかも寝ねむ

二〇五一番

天あまの原はら 行ゆきて射いてむと 白しろ真ま弓ゆみ 引ひきて隠かくれる  
月つき人ひとをとこ

二〇五二番

この夕ゆふ 降ふり来くる雨あめは 彦ひこ星ほしの はや漕こぐ舟ふねの  
權かの散ちりかも